

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヒラキ電計機けいはんな事業所	階数	地上 2F
建設地	京都府相楽郡精華町光台二丁目1-4	構造	S造
用途地域	準工業地域、法第22条区域	平均居住人員	20 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年9月13日
敷地面積	15,350 m <sup>2</sup>	作成者	(03896-23)今西良一
建築面積	1,859 m <sup>2</sup>	確認日	2018年9月19日
延床面積	2,240 m <sup>2</sup>	確認者	(株)イノベイト



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.0**

**Q1 室内環境** Q1のスコア= 0.0

**Q2 サービス性能** Q2のスコア= 3.2

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.2**

**LR1 エネルギー** LR1のスコア= 3.3

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア= 3.1

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項	
総合	建物の長寿命化と省エネルギー対策、地球温暖化防止に配慮している。
その他	太陽光発電設備を導入して、自然エネルギーの変換利用に配慮している。
Q1 室内環境	工場用途のため、評価対象外
Q2 サービス性能	耐久性、補修性に優れた材料を使用するよう努めている。将来の用途変更可能性などを考慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	自然林の保存や新規の植栽により、生物環境に十分に配慮している。
LR1 エネルギー	高効率機器の採用で設備システムの高効率化を図っている。
LR2 資源・マテリアル	節水器具を採用し、水資源の保護に努めている。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO <sub>2</sub> を削減し、地球温暖化防止を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される